

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月29日更新

事務事業名		健康育児相談事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	安武 祐次
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	健康づくり推進課	担当者名	稲崎 奈々子
	基本事業	59	相談支援体制の充実			所属班	健康推進班	(内線)	2134
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 6	事業連番 10606	法令根拠	母子保健法	成果優先度評価結果 : ③ コスト削減優先度評価結果 : ①
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	子どもたちの発育・発達の確認、母親の育児不安解消のため保健師・助産師・栄養士が相談に応じる。昭和58年の老人保健法の施行に伴い、成人の健康相談が主として開始した。しだいに社会情勢の変動により、母子の相談のニーズが高まり育児相談の割合が増加してきた。よって合併を機に「健康育児相談」として母子保健事業の中で継続実施している。
【業務の流れ】	健康づくり事業計画表、広報、乳幼児健診等で事業の開催について周知を行う。 ①会場の設営②受付、身体計測、保健・栄養相談等の実施。必要者には母子健康手帳の発行③ミーティング及び片付け④相談後のフォロー
【主な予算費目】	賃金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	相談者からは、「心配していたことが解決できて良かった」「順調に発育していたので安心した」などの声がある。1回の相談日に多い時は50組(60~100人)程度来るため、会場の広さや駐車場の問題がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)		24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
毎月2カ所で開催(ふれあい館・泉ヶ丘市民センター)年24回実施実績: 延べ1451人。(ふれあい館延べ631人、泉ヶ丘市民センター延べ820人)		毎月2カ所で開催(ふれあい館・泉ヶ丘市民センター)年24回実施
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 相談者数	人	
→ イ: 相談回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
子育て中の母親(家族)と乳幼児	人	→ ア: 合志市民子育て中の母親と乳幼児
		→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
子育ての不安解消を図る	人	→ ア: 相談者数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
子育ての不安解消につなげるため、相談しやすい環境づくりをし相談者を増やしていく。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①活動指標	ア 人		1,633	1,662	2,100	1,451	1,600	1,700	1,800	1,900	
	イ 回		24	24	24	24	24	24	24	24	
②対象指標	ア 人		6,300	7,764	7,800	9,174	7,900	8,000	8,100	8,200	
	イ										
③成果指標	ア 人		1,633	1,662	2,100	1,451	1,600	1,700	1,800	1,900	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	418	418	418	418	418	418	418	418
		(A)事業費計	千円	418	418	418	418	418	418	418	418
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	9	9	9	10	9	9	9	9
延べ業務時間	時間	846	275	520	476	520	520	520	520		
(B)人件費計	千円	3,367	1,133	2,142	1,922	2,142	2,142	2,142	2,142		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,785	1,551	2,560	2,340	2,560	2,560	2,560	2,560		

事務事業名	健康育児相談事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 周知の徹底不足と相談しやすい環境づくりが必要だった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 ホームページや広報、出生届、妊婦訪問や乳児訪問、乳幼児健診など様々な機会に周知し、相談しやすい環境づくりを行う。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 周知の徹底と相談場所や駐車場の確保及び専門スタッフの配置が必要である。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最低限の事業費で行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最低限の専門職と職員で行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ホームページや広報、出生届、妊婦訪問や新生児訪問、乳幼児健診など様々な機会に周知しており、受益機会は公平と思われる。また、相談料は無料であり、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 保健師や栄養士、看護師の専門職が対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

子育ての不安解消のため、相談しやすい環境づくりが大切になる。今後も、周知徹底と相談場所や駐車場の確保及び専門スタッフの配置を整えていきながら、相談しやすい環境づくりが必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					